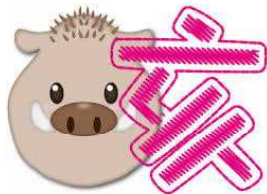


富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」配付しています。



あけましておめでとうございます。
今年もセンターをよろしくお願いします。

施設長 小中栄一 職員一同

電話リレーサービスのブース設営しました。登録と利用を



電話リレーサービスのためのパソコン、カメラ、マイク付きヘッドフォン、机、パネルを購入し、12月14日に富山県聴覚障害者センターの事務室にブースを設営しました。

12月12日には、東京の日本財団で「電話リレーサービスを実施する事業者と聴覚障害者情報提供施設が集まり意見交換会」が行われ、富山からも中橋職員、清水職員が出席しました。「いろいろな課題が見えました。聴覚障害者情報提供施設として福祉的支援がどこまで必要ななどの意見がありました」。

現在の利用登録者は約8,600人と増えていますが、富山県内のろう者の登録・利用はまだまだ少ないのではないかと思います。登録は、日本財団のホームページ「日本財団 電話リレーサービス モデルプロジェクト」<https://trs-nippon.jp/>からできます。分からないときは、富山県聴覚障害者センターに来て下さいね。

富山県障害福祉課・教育委員会と要望交渉を行いました。

2018年11月21日（水）の午後、来年度予算への要望について、県教育委員会・障害福祉課と交渉をしました。県教育委員会から2名、障害福祉課から4名、協会から理事・監事の7人が出席。

特に、手話言語条例による施策推進について、「学校等における手話普及啓発事業を予算を確保して進めて欲しい。」「県庁設置の手話通訳者の置かれている条件の改善」などの他、盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業の対象者の等級制限を止めること。センタースタジオの映像編集機器更新の予算確保等を重点に話し合いました。

富山市聞こえのサポート講座が終わりました。

今年度初めて開催した講座が終わりました。民生委員児童委員、福祉サービスや介護サービス関係職員、一般を対象に富山市総合社会福祉センターにて10月19日、12月7日開催。地域包括支援センター職員を中心に富山県聴覚障害者センターにて11月20日開催。全部で165人参加がありました。筆談ボードなどの用具の入手方法、補聴器の利用の様子などについて質問があり、貴重な学習となったとの感想が多かったです。

センター利用の実績 11月21日～12月19日

- 来所者合計約647名 聴障者約230名、健聴者約417名
- コミュニケーション支援コーディネート114件
電話リレーサービス 9日間88件（手話67件、文字29件）
- ライブラリー貸出 2件6本
- 相談対応5件 ●部屋貸出55件

センター運営募金を
お寄せ下さい★

郵便

振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会